

第四期中期目標（案）の所管事務調査における市議会からの主な意見

区 分	内 容
前 文	・協働といった、名古屋市と一緒にやっていくということを明確に書いてほしい。 ・アジア競技大会で大事なのはレガシー。国際化だけでなく、市大がどういう形で名古屋のレガシーの創出に市と協働で進めていけるのか、どうやっていくか目標の中に書き加えてほしい。
教 育	・小中高生の大学の教育研究に触れる機会の提供とは、市立学校を名市大の附属の小中高にすることも将来的に視野に入れながらやっているのか。小中高生の教育から市大が中心的に取り組み、教育、研究とか熱心にやってきたことを社会全体に対して一般化していく、展開していくことが大事。そういった取り組みを是非検討してもらいたい。
研 究 産学官連携	・成果を上げるには長い息のかかる研究が必要。世界的なレベルに上げていこうと思うと自己資金に加え、市からも財源を獲得することが必要である。 ・市の機関だけでなく、さまざまな機関と連携をして、スタートアップの支援に取り組んでいただきたい。 ・大学の知をどう還元していくのか、地域の課題解決にチャレンジをさせていけるのか、このシステムを是非考えていただきたい。 ・世界レベルの教育研究環境を作るためにはそれなりの財源が当然必要になる。お金も大事だがどれだけ世界的な人材を名市大に引っ張ることができるか、その方々が中心となって研究を重ねることで当然世界レベルの成果もできるだろうと思っている。

社 会 貢 献	・データサイエンス学部が音頭を取って、行政のビッグデータを活用したまちづくり、社会課題の解決に踏み込んで取り組んでいただきたい。
附 属 病 院	・コロナ禍を踏まえて、第四期中期目標にどういったことが反映されているか。しっかり総括して進めてほしい。 ・第三期にあった地域住民の要請に応えられる医療を提供する、という表現がなくなったが、その役割は維持されるという方向性は変わらないでほしい。
国 際 化	・オンラインによる形でも、さまざまな方が海外の方と交流できるような名市大になっていただきたい。
業 務 運 営	・DXの推進について、課題が多い中、中期計画の中でしっかり大学全体の課題として取り組んでいただきたい。
財務内容の 改 善	・法人運営に必要な自己収入の増加は非常に難しい。公立の施設が持っている、その根本的な課題を解決していけるような具体的な方策を、全国に先駆けて考えてほしい。